

令和7年度 西原小学校 学校経営方針

1 はじめに

教育基本法、学校教育法の理念の下、学校教育の基礎を施す小学校教育の使命を自覚し、児童が生涯にわたり学習する基盤が培われるよう、指導・支援に力を尽くす。同時に、国及び東京都、渋谷区教育委員会主要施策を踏まえ、地域とともに成長・発展していく学校を目指すために、学校経営方針を以下に設定する。

【令和6年度学校評価を受けての考察】

- 「明るく楽しい生活している」約95%
 - 「基本的生活習慣を育んでいる」約92%
 - 「思いやりの心を育む教育」約88%
 - 「健やかな体を育む教育活動」約90%
 - 「子供や保護者に誠実に対応」約89%
 - 「学校の特色が表れている」約88%
 - 「タブレット端末を効果的に」約80%
 - 「自ら進んで学習に取り組んでいる」約83%
 - ▲「学校や家庭ですすんであいさつ」約76%
 - ▲「シブヤ未来科を通して課題設定・発表」約69%
 - ▲いじめ対応の未然防止等 約68%
- (成果)・児童、保護者への丁寧な対応の積み重ねによる評価
- ・シブヤ未来科を始めとする学習の様子(ICT含む)の周知・理解進化
 - (課題)・シブヤ未来科推進での学習上の成果の実感化
 - ・あいさつを主体としたコミュニケーションの育成
 - ・いじめを起こさせないための児童・教職員の人权意識構築及び安定した学級・学年・専科等の経営

西原小学校 教育目標

- 実行する子ども
 - 思いやりのある子ども
 - 健康な子ども
- ※ ○は重点目標

【国や東京都・渋谷区の施策】

- 「こどもまんなか社会」(こども家庭庁「こども大綱」より)
 - ・いじめ防止・不登校支援・貧困対策・障害のある児童生徒への支援等
- 令和6年度 東京都教育ビジョン「3つの学び」
 - ・子供の個性と成長に合わせて意欲を引き出す
 - ・子供の成長を社会全体で支え、主体的に学び続ける力を育む
 - ・ICTの活用によって、子供たち一人ひとりの力を最大限に伸ばす(教育×DX)
- 渋谷区の教育目標と重点的な取組
- 未来の学校(渋谷区教育大綱より)で大切にする7つの力
 - 「基礎・探究・自律・協働・共感・創造・挑戦」
- 7つの力を育むための重点的な取組
 - 1 子ども主体の「未来の学校」づくりの推進
 - 2 一人ひとりの“ちがい”が活きる新たな学び・探究の推進
 - 3 誰でも安心・安全に挑戦できる教育環境と多様な取組の推進
 - 4 テクノロジー活用によるDXの加速化と教員の働き方改革の推進
 - 5 地域と共に創する学校づくりの推進実施・教職員の働き方改革の推進

【本校職員による令和7年度に向けての検討会議】

○都の教科担任制度での組織力向上。時数管理等の課題。○シブヤ未来科及びICT活用によって探究的な学びが向上。○授業時間削減による授業内容の軽重についての計画化。○あいさつを含めた更なる規範意識の育成。言語環境整備。○特別支援教育の更なる推進・いじめや不登校への対策強化。保護者・地域及び関係機関との連携。保幼小・中との連携。○シブヤ未来科による地域との連携増加。より見通しをもった計画を。特別活動の更なる推進。HP等での広報を。○人員を生かした組織的チーム力の良さによるOJTの充実。○個の責任明確化・ICT等業務のシステム化及び研修の充実を。○保護者会等の活性化による保護者同士の繋がり増加を。

2 様々な教育課題を解決するための3つの柱

- 「社会に開かれた教育課程」の実現
- 学校マネジメントを踏まえた「チーム」としての教職員の意識改革
- 保護者及び地域、そして行政・関係機関との連携・協働体制の確立

3 目指す学校像

- 子供に生きる力を育む学校(しっかりと 考え、話せる西原っ子)
- 子供の安心・安全を図る学校(にこにこと あいさつあふれる西原っ子)
- 保護者・地域と共に歩む学校(はっきりと 手をつなぎ 協働 西原地域)
- 子供も職員も輝く学校(らんらんと 自分たちも輝く教職員)

4 学校経営の基本方針

- 【基本方針1】自ら学び続ける児童の育成（しっかりと 考え、話せる西原っ子）
- 【基本方針2】安心・安全な学校づくり・一人一人に寄り添った児童理解
(にこにこと あいさつあふれる西原っ子)
- 【基本方針3】子供主体の学びを家庭と地域との協働で創り上げ「西原の良さ」の体感を
(はっきりと 手をつなぎ 協働 西原地域)
- 【基本方針4】「チーム西原」で自らも輝き続ける教職員
(らんらんと 自分たちも輝く教職員)

5 学校経営基本方針の具体策

【基本方針1】～自ら学び続ける児童の育成～（しっかりと 考え、話せる西原っ子）

- (1) 「未来の学校」づくりに向けて、主体的・対話的で深い学びを視点とした授業改善を行うとともに、子供が主体となる学習過程を重視していく。
- (2) 「探究」の学習を「探究シブヤ未来科」（総合的な学習の時間及び生活科を基とした渋谷区独自の学び）を主として実施し、他教科等においても、自分の思いや願いを伝える力の育成を図るとともに、様々な学習課題を「自分ごと」として捉える力をもたせていく。
- (3) 児童が主体的にタブレット端末用いて、デジタル教科書や各学習ツールを利活用し、ICT教育を更に進めていく。同時に、「デジタルシティズンシップ教育」の推進も図る。
- (4) 教科担任制や習熟度別指導、東京ベーシックドリルの診断テストを活用し、学年全体で児童を見取り、個別最適な学びを繰り返しながら、基礎学力の更なる定着を図る。
- (5) 運動に親しむとともに、体力向上に係る目標を各個人で設定し、運動能力を向上していく。

【基本方針2】～安心・安全な学校づくり・一人一人に寄り添った児童理解～
(にこにこと あいさつあふれる西原っ子)

- (1) 特別の教科道徳の時間を要として、各教科等で人権教育の推進及び多様性の尊重を踏まえた教育活動を行う。
- (2) 「西原小学校 校舎のきまり」を全校で継続徹底することで、基本生活習慣の定着を図り、きまりを守る児童を育成する。
- (3) あいさつを中心とした言語環境作りを更に進め、言葉遣いや集団生活での礼儀やマナーを身に付けさせる。
- (4) 「西原小学校いじめ防止基本方針」を踏まえ、いじめをしない、させない集団作りを行うとともに、差別や偏見をもたせない学級・学年経営を行う。
- (5) 不登校が生じない魅力ある学校づくりを進めるとともに、不登校を改善するための支援を保護者及び関係機関等の協力を得て、組織的な対策を取る。
- (6) 児童の食物アレルギーについては、保護者との連絡を密にとり、組織的な対応を取る。
- (7) 特別支援教育コーディネーターを中心とした校内委員会を活性化させ、保護者や関係機関との連携を図りながら個に応じた支援計画を立て、組織的に対応していく。
- (8) 自分自身や様々な立場の方への理解を深めていく理解教育を全学年で実施し、啓発を図る。
- (9) 防災教育を通して児童が主体的に事故や災害等から自らの身を守る力を身に付けさせていく。同時に全職員が危機管理意識を共有し、PTA や地域、関係機関と連携した防災体制の整備の充実を図る。
- (10) 施設設備の安全点検を定期的・組織的に行い、事故防止に努める。また、不要物の処分、日常の清掃、環境整備を徹底する。

**【基本方針3】～子供主体の学びを家庭と地域との協働で創り上げ「西原の良さ」の体感を～
(はっきりと 手をつなぎ 協働 西原地域)**

- (1) あいさつ運動や縦割り活動等、子供が主体となる特別活動を推進し、思いやりの心や社会性、公共性を育てる。
- (2) けん玉や鼓笛活動、日本語教室、JICA 東京センター等、西原地域を生かした特色ある教育の充実させ、西原地域との共生及び多文化共生の意識を育む。
- (3) 小学校入学時の「スタートカリキュラム」や小学校入学前の「オープンスクール」の充実を図り、「保幼小連携」を図る。
- (4) 学校ホームページや Home & School (保護者通知アプリ) を最大限に活用し、迅速かつ適切な情報発信を行う。
- (5) コミュニティ・スクール・PTA・西原地域を基軸とした学校支援体制を確立していく。
- (6) 渋谷区の地域学校支援係や一般社団法人「シブタン」と連携を深め、地域人材及び企業の活用を積極的に進める。同時に地域行事への教職員の参加を促進する。
- (7) 魅力ある保護者会や研修会を実施し、保護者の方々が来校しやすい雰囲気づくりに努める

**【基本方針3】～「チーム西原」で自らも輝き続ける教職員～
(らんらんと 自分たちも輝く教職員)**

- (1) 「教科担任制」「全学年副担任制」「全学年少人数・習熟度別授業（算数科）」により、組織全体で子供たちを指導・助言を行う。
- (2) 職務分担をすることで超過勤務者を減らすとともに、校務・教育の DX を進め、量から質への職務改善を図る。同時に学校への支援者を拡大し、更なる働き方改革を推進していく。
- (3) 教育活動を様々な手段で広く公開するとともに、保護者や地域の方による学校評価等の声を真摯に受け止め、本校の教育活動の糧とする。
- (4) 教育公務員としての「自覚」と「誇り」をもつ。そのために、職層に応じた研修を行い、教職員の資質向上を図るとともに、職員同士の連帯感及び使命感を高める。
- (5) 服務管理の徹底、費用対効果の意識化、校内環境を整える。
- (6) 学校にとっても、地域にとっても、個においても「Well-Bing」（持続的な幸福）を目指し、「不易と流行」の見極めを図り、保護者及び地域の方と共に「地に足が付いた学校づくり」を推進していく。



「品格」の感じられる西原小学校に

子供から感じられる「品格」
それを示していくのが教職員の「品格」